

(1) 渡月橋北詰の舊觀（昭和8.6.25）

## 桂川筋嵐山渡月橋架設工事概要

京都市土木局長 高田 景

本橋は府県道向日町嵯峨線に屬し、右京區嵯峨天龍寺造路町(左岸)より桂川を横斷し右京區嵯峨中ノ島町地内中ノ島に架渡したる渡月大橋と、中ノ島より右京區嵐山中尾下町(右岸)に架設せる渡月小橋とに分つ。

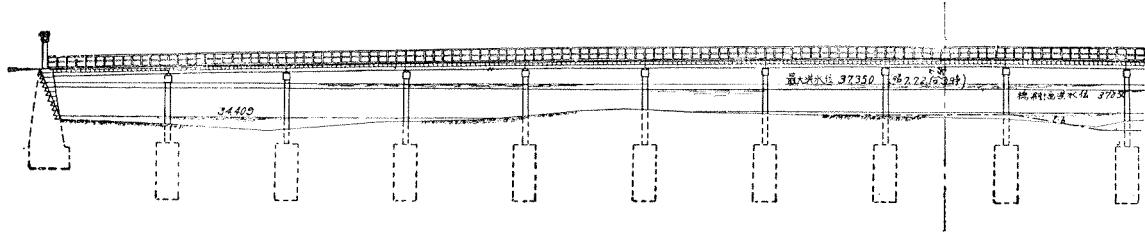
### 渡月大橋

現在の大橋(寫眞第一參照)は、明治四十二年の架設に係る本橋にして、橋長86間即ち156.4米、有効幅員2.2間(4米)徑間5間毎に木造橋脚16聯を有し、高12吋のI鋼(間隔1.5米<sup>3</sup>率通)を主桁としてゐるが、橋桁低きた

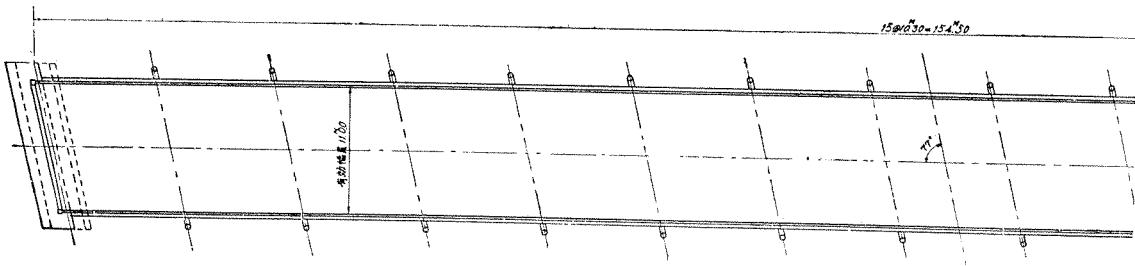
め、洪水毎に浸水し、浮力により橋體橋脚共に弛緩せるのみならず、近來腐朽甚だしく昨年七月二日の洪水に依り一部流失したり。

新渡月大橋は延長158.0米、有効幅員11.0米にして、徑間10.4米毎に橋脚14を有するI鋼鐵筋コンクリート橋とす。主桁は高0.60米のI型鋼を用ひ、全幅を通じて1米毎に12本を配し、床版は平均厚0.25米の鐵筋コンクリート造とし、橋面は膠石鋪裝、横斷勾配50分の1の拋物線上に仕上げるものなり。

高欄は四圍の風致に適せしむる爲、在來通り木造角格子式とし、親柱は高さ3米50の石



(2) 渡月橋架換工事一般圖。左大橋、右小橋。



柱を用ひ、その上に春日燈籠形電燈1箇を取り付けるものとす。

橋體の反りは中央に於て1.0米高め、橋面縦勾配は約80分の1の拋物線型とし、桁下有効高は中央に於て約1.5米、兩端に於て約0.5米とす。

床版の伸縮織手は各橋脚上に設け、間隙0.01米を残して底部にV型厚0.003米の鋼鉄を挿入し、其上にブローン・アスファルトを注入す。

橋脚は径0.50米の鐵骨コンクリート柱四本建とし、上部は鐵骨コンクリート桁にて連結す。基礎は各柱毎に圓型沈井（鐵筋コンクリート製）とし、根入は平均6.0米とす。

橋臺は重力式コンクリート壁にして、根入約3.0米、普通締切床据とす。表面は在來橋臺に做ひ自然石張石をなし、風致を害なはざらしむ。

橋臺取付護岸は大橋は兩岸共約1.20米、小橋に於ては兩岸共約0.75米上高するを以て、30分の1の勾配を、在來護岸に取付け全部裏込コンクリート自然石積とす。

大橋の下流には、在來木工沈床を以て橋梁保護を兼ね川床固工の施工あり、工事に差支

を生ずるを以て同一工法により、之を下流に移設したり。

### 渡月小橋

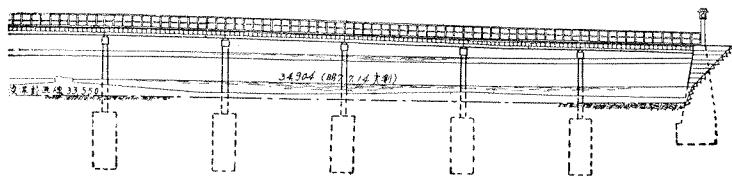
現在の小橋は大正十二年の架設により、橋長10.1間(約18.4米)幅員2.2間(約4.0米)中央に木造橋脚を有し、高さ12寸のI鋼(間隔1.5米三本)を主桁とする木橋にして、桁下低く加之腐朽甚だしき爲、之又大橋と同様架換を要するものなり。

新小橋は延長19.0米、有効幅員11.0米、中央に橋脚を有するI鋼鐵筋コンクリート橋にして、其構造は又前記新大橋に準ずるものとす。橋體の反りは中央に於て0.10米、縦勾配は約80分の1の拡物線型にして、桁下有効高さは中央に於て0.5米なり。

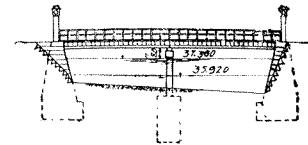
### 施 行 概 況

以上本工事の施工に當りては、交通上の障害を虞り、現在橋を其のまゝ存し、先づ下流の半部分を施工し、假高欄を造りて一般の通行を許したる後舊橋を撤去し、上流の半部分を施工して完成を期するものなり。

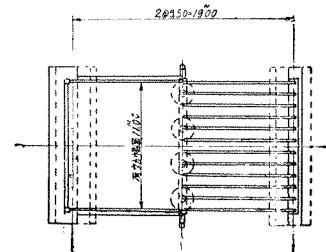
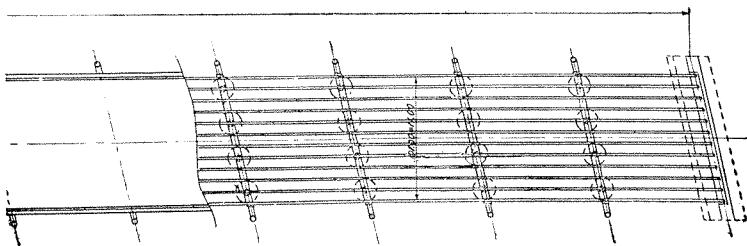
現在下流側半分殆んど完成の域に達し、三



(左) 大 橋

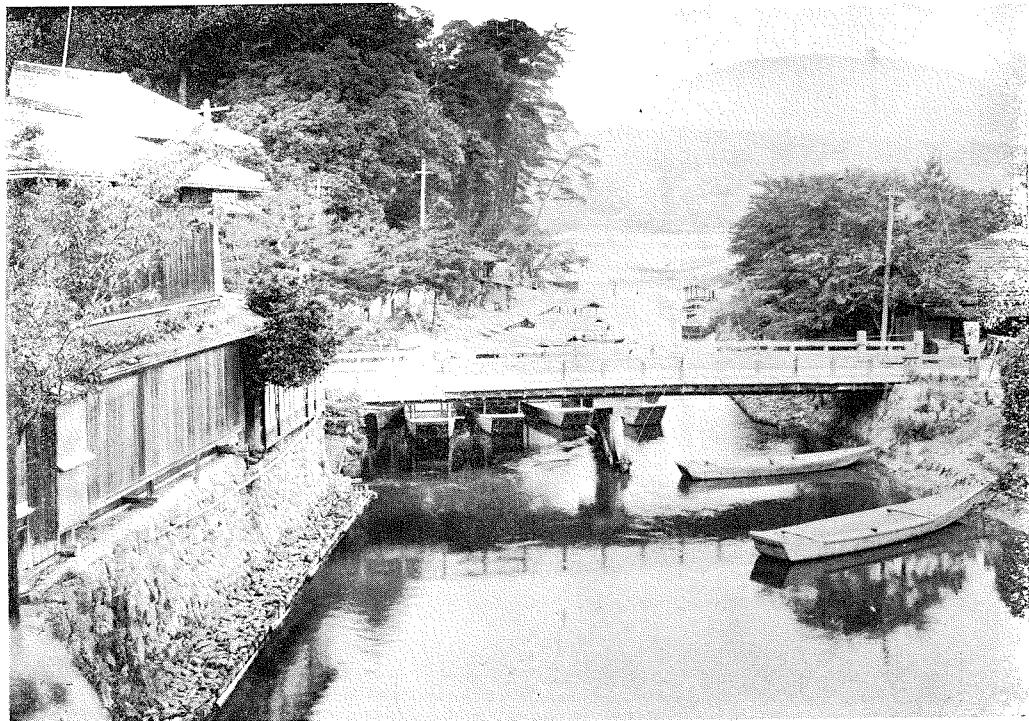


(右) 小 橋

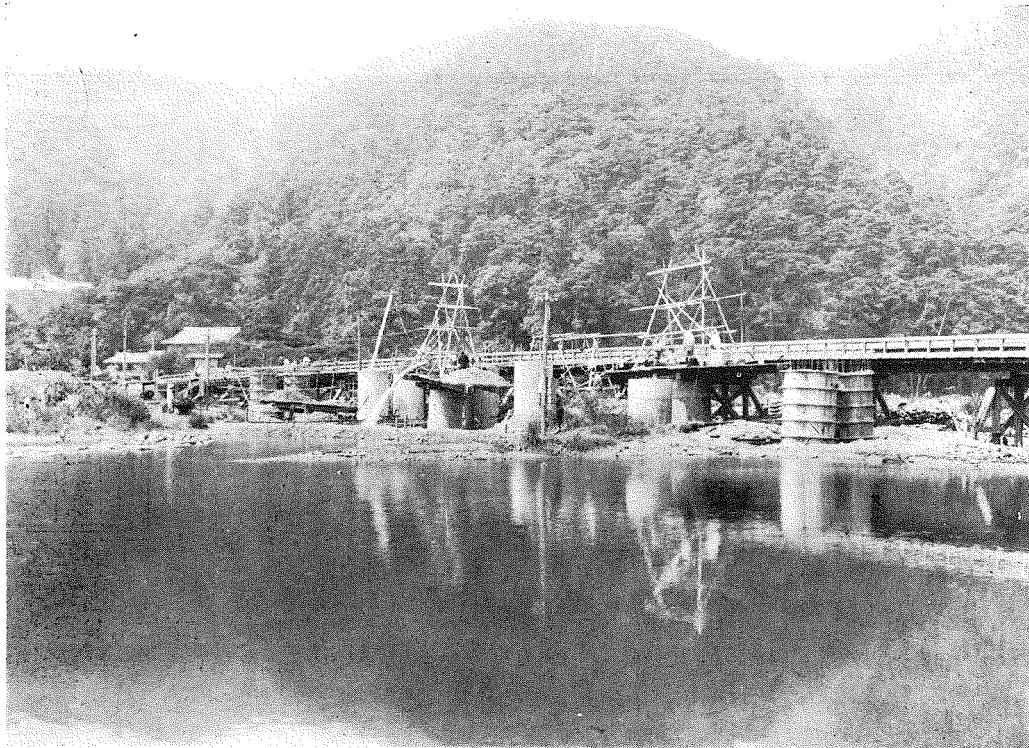


月末竣工の見込みなり。上流側半部分は然る後現在橋を撤去して着工す。一般工事は池田孫

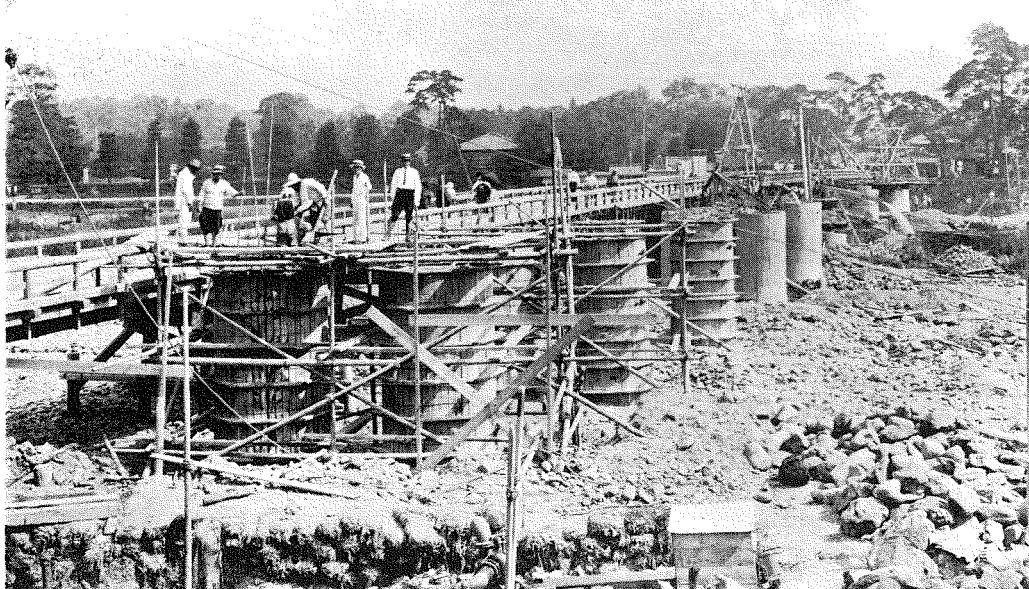
八氏の請負に係り、鐵材製作は横河橋梁製作所の請負なり。(了)



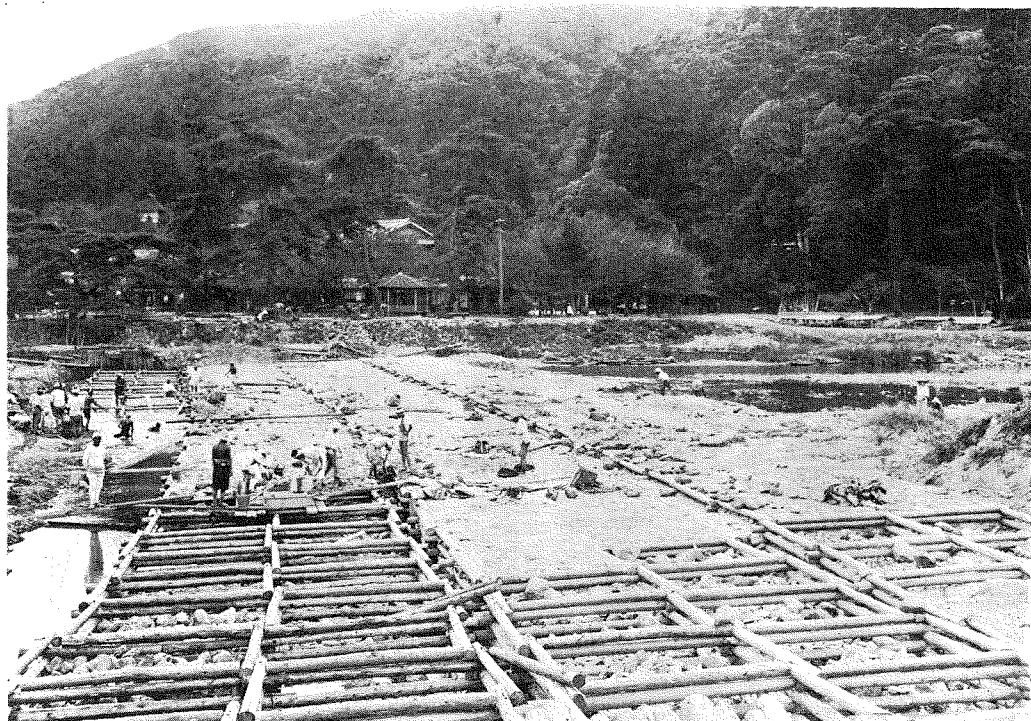
(3) 渡月小橋 舊橋俯観 (昭和8. 6. 25)



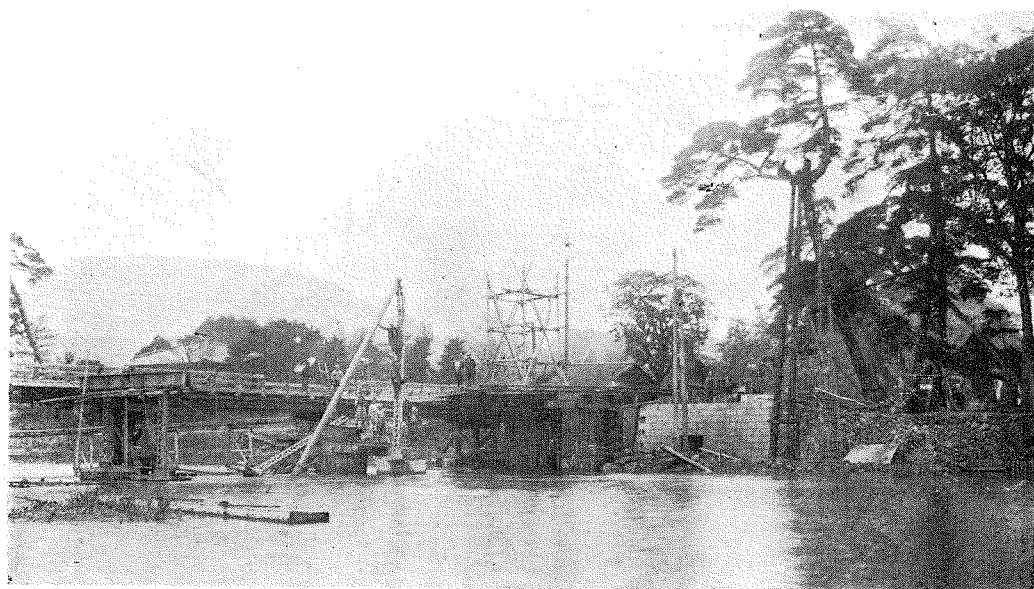
(4) 三條側より井筒沈下を望む(昭和8.6.17)



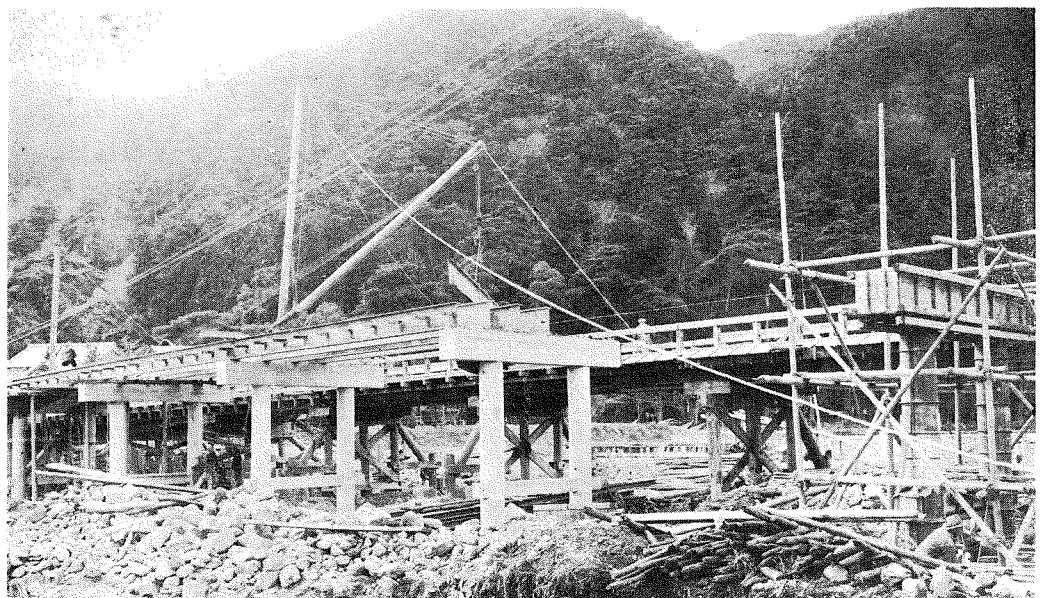
(5) 中ノ島より橋脚井筒を望む(昭和8.6.25)



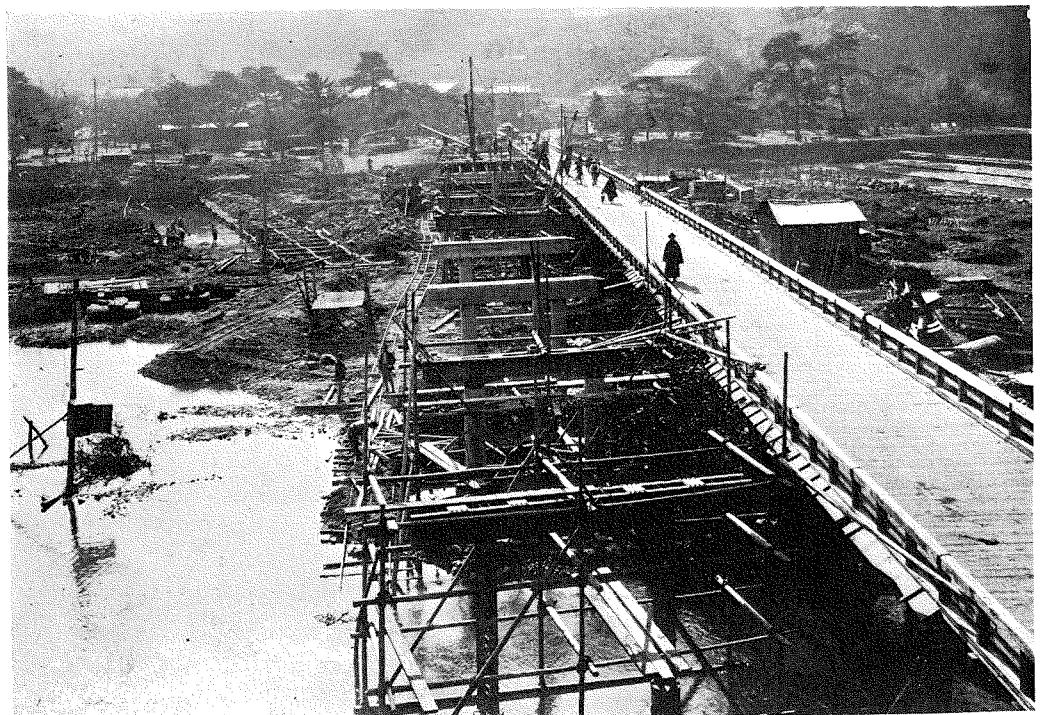
(6) 大橋下流木工沈床 昭和8. 9. 15)



(7) 中洲より三條側松の支柱及二號橋脚礎柱建込（昭和8. 11. 15）



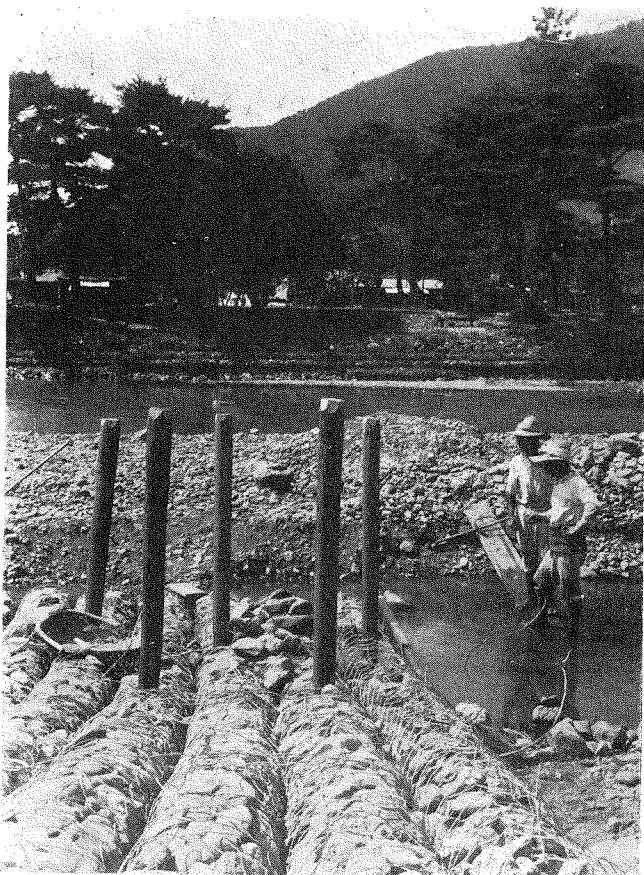
(8) 中洲より第11桟間橋架渡しを望む（昭和8. 11. 28）



(9) 三條側より全工事場を望む（昭和8. 12. 3）

(10) 渡月大橋下流護岸 カサキ

籠蛇



(11) 同上。井筒工  
事中の大橋と  
蛇籠工